

事前予約制(日時指定券)を導入します

京都国立博物館
東山七条 KYOTO NATIONAL MUSEUM
〒605-0931 京都市東山区茶屋町527
お問合せ 075-525-2473 (受付時間) https://www.kyohaku.go.jp/
※会期中は今後の諸事情により変更する場合があります。

公式サイト = <https://meiho2020.jp/>
公式ツイッター = @meiho2020jp

2020年
10/10(土) - 11/23(月) 祝

御即位記念 特別展

皇室の名宝

Special Exhibition in Celebration of the Emperor's Enthronement
Treasures from the Imperial Palace
October 10 - November 23, 2020

源氏物語四屏風(部分) 伝狩野永徳筆
宮内庁三の丸尚蔵館【後期展示】

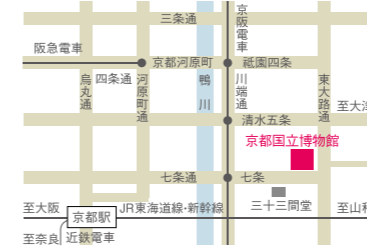


【宮内庁三の丸尚蔵館】

平成元年(1989)、皇室に代々受け継がれた絵画・書・工芸品など6000点余が国に寄贈されたことを機に、平成5年(1993)、皇居東御苑内に開館した宮内庁所管の施設。考古遺品から近現代の作品まで、時代や製作地はさまざまながら、縁あって皇室に納められた作品を収蔵しています。その作品群は別格の存在であることから、国宝・重要文化財といった国の文化財指定を受けていませんが、各時代の文化を代表する名品を含むことで知られています。



いつ昔ながらのきんぎょが、五文唐衣(表裏)のうち唐衣・表着と櫛扇(右) 東福門院御料 京都・靈鑑寺【通期展示】



アクセス
○JR・近鉄=京都駅下車、駅前市バスD1のりばから100号、D2のりばから206・208号系統にて博物館・三十三間堂下車、徒歩すぐ。
○京阪電車=七条駅下車、東へ徒歩7分。
○阪急電車=京都河原町駅下車、京阪電車祇園四条駅から七条駅下車、東へ徒歩7分。または京都河原町駅下車、四条河原町から市バス207号系統にて東山七条下車、徒歩3分。
○市バス=博物館・三十三間堂前下車、徒歩すぐ。または東山七条下車、徒歩3分。
○プリンセスラインバス=京都駅八条口のりばから京都女子大学前行きにて東山七条下車、徒歩1分。
*ご来館はなるべく公共交通機関をご利用ください。駐車場は有料となっております。

京都国立博物館
平成知新館【東山七条】 KYOTO NATIONAL MUSEUM
〒605-0931 京都市東山区茶屋町527 TEL. 075-525-2473 (テレホンサービス)
<https://www.kyohaku.go.jp/>

ご来館前に以下をお読みいただき、新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡大防止のための取り組みにご協力ください。
京都国立博物館ウェブサイト掲載「ご来館くださる皆様へお願い」
<https://www.kyohaku.go.jp/jp/onegai/infection-prev.html>

源氏物語四屏風(部分) 伝狩野永徳筆
宮内庁三の丸尚蔵館【後期展示】

◎事前予約制(日時指定券)のご案内◎
本展は、新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡大防止のため、オンラインでの事前予約制(日時指定券)を導入します。ご来館前に公式サイトから「日時指定券+観覧セット券」をご購入ください。事前予約は、前期分9月25日から、後期分10月20日から開始する予定です。皆様のご理解、ご協力のほどよろしく申し上げます。
観覧料：一般1800円、大学生1200円、高校生700円
*前売券・団体券はございません。
*中学生以下、障害者の方とその介護者1名などの無料対象の方も、人数分の「日時指定券」の予約が必要です。ご入館の際には、学生証、障害者手帳などをご提示ください。
*キャンパスメンバーズ(含教職員)は、「日時指定券+キャンパスメンバーズ観覧セット券」をご購入ください。ご入館の際には、学生証などをご提示ください。
*オンライン予約のご利用が難しい方のため、当日券を若干数ご用意しております。ただし、当日分がなくなり次第、終了となります。
*無料優待の利用も一部に限定しております。詳細はお問い合わせください。
*詳細は展覧会公式サイトをご覧ください。

- 記念講演会
- 10月10日(土) 宮廷と日本文化—雅な文化、その継承のこころ
講師：太田 彩氏 (宮内庁三の丸尚蔵館・首席研究員)
 - 10月17日(土) 皇室に伝わった絵巻の至宝—春日権現験記絵を中心に—
講師：井並 林太郎 (京都国立博物館・研究員)
 - 10月24日(土) 皇室を彩る絵画—旧桂宮家伝来品を中心に—
講師：福士 雄也 (京都国立博物館・主任研究員)
 - 10月31日(土) 宮内庁三の丸尚蔵館所蔵の書跡名品とその伝来—“禁裏御物”と諸家献上—
講師：高梨 真行氏 (宮内庁三の丸尚蔵館・主任研究員)
 - 11月 7日(土) 伏見天皇と「屏風土代」—天皇の書風形成—
講師：羽田 聡 (京都国立博物館・美術室長兼列品管理室長)
 - 11月14日(土) 御所をめぐる色とかたち
講師：山川 暁 (京都国立博物館・工芸室長兼企画室長)

会場：京都国立博物館 平成知新館 講堂(地下1階)
時間：午後1時30分～午後3時
定員：100名(予定)*変更する場合があります
料金：無料(ただし、講演会当日の聴講券付き日時指定券が必要)

参加方法：オンライン事前予約にて「聴講券付き日時指定券+観覧セット券」をご購入、または「聴講券付き日時指定券」をご予約ください。
*オンライン予約のご利用が難しい方のため、当日券を若干数ご用意しております。ただし、当日分がなくなり次第、終了となります。
*詳細は展覧会公式サイトをご覧ください。

オンラインショップ
本展では、会場内特設ショップにて、図録やグッズをお買い求めいただけます。同時に、混雑を避けゆっくりとお買い求めいただけますようオンラインショップも開設いたします。(10月10日～11月30日まで*予定)
※詳細は展覧会公式サイトをご覧ください。

音声ガイド
落ち着いた語り口で、本展のみどころをわかりやすくご紹介いたします。
料金：1台600円(税込)
所要時間：およそ30分



ナビゲーター
アナウンサー 山根基世さん

公式サイト = <https://meiho2020.jp/>
公式ツイッター = @meiho2020jp

皇室につどう書画 三の丸尚蔵館の名宝

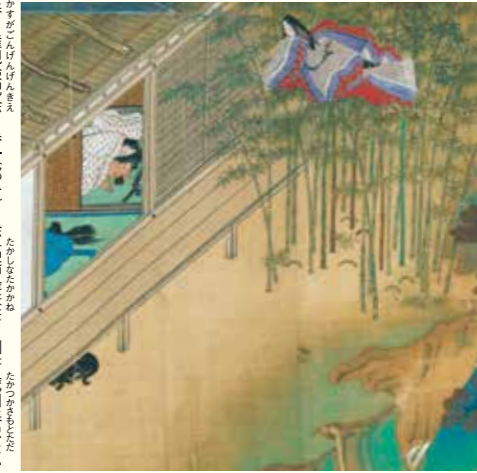
三の丸尚蔵館には、さまざまな形で皇室と縁を結んだ書画の逸品が収蔵されています。本展は、このコレクションを皇室ゆかりの地・京都で見ると、まさに千載一遇の機会です。

筆跡のもつ力



王羲之の真蹟は現存せず、その書風を伝える模本が珍重される。本作はその中でも随一。

絵と紡ぐ物語



二十巻すべてが揃い、製作の背景を記す目録とともに伝えられる、奇跡の絵巻。鎌倉時代の歴史や美術を語る逸品として知られている。



近世絵画 百花繚乱



宮内庁三の丸尚蔵館 後期展示

若冲が画家に専念することになった四十歳の折りの記念碑的作品。加えて代表作の《動植綵絵》八度も出陣(展示替あり)。

皇居から京都へ

新たな世の始まりをことばづく

天皇陛下の即位とともに元号が改まり、令和の世を迎えました。新たな世の始まりをことばづく、皇室ゆかりの地である京都において、宮内庁三の丸尚蔵館の名品を、日本の宮廷で培われた文化とともに紹介する展覧会を開催します。本展は、宮内庁諸機関が管理する名だたる品々と、天皇家に伝来する御物が、東京以外の地でまとまって公開される初めての機会。皇室と縁を結んだ名品の数々を、堪能ください。

◆令和 悠紀・主基屏風公開

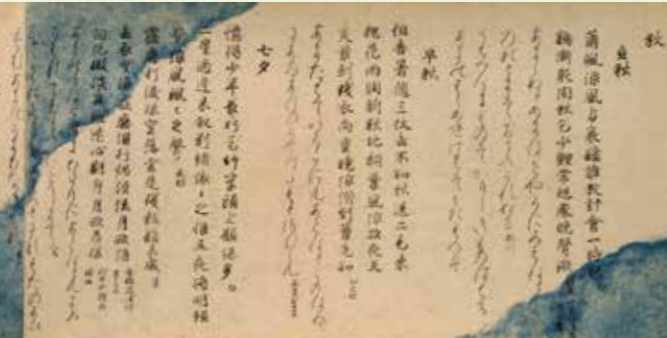
悠紀主基屏風とは、新天皇が即位後に行う大嘗祭に穀物等の神饌を献する悠紀地方、主基地方の四季の情景を描き、両地方を詠み込む風俗歌の色紙形を添えた屏風です。令和の悠紀地方は栃木県、主基地方は京都府でした。本展には、令和の大嘗の儀を飾ったこの屏風も出品されます。

即位の風景



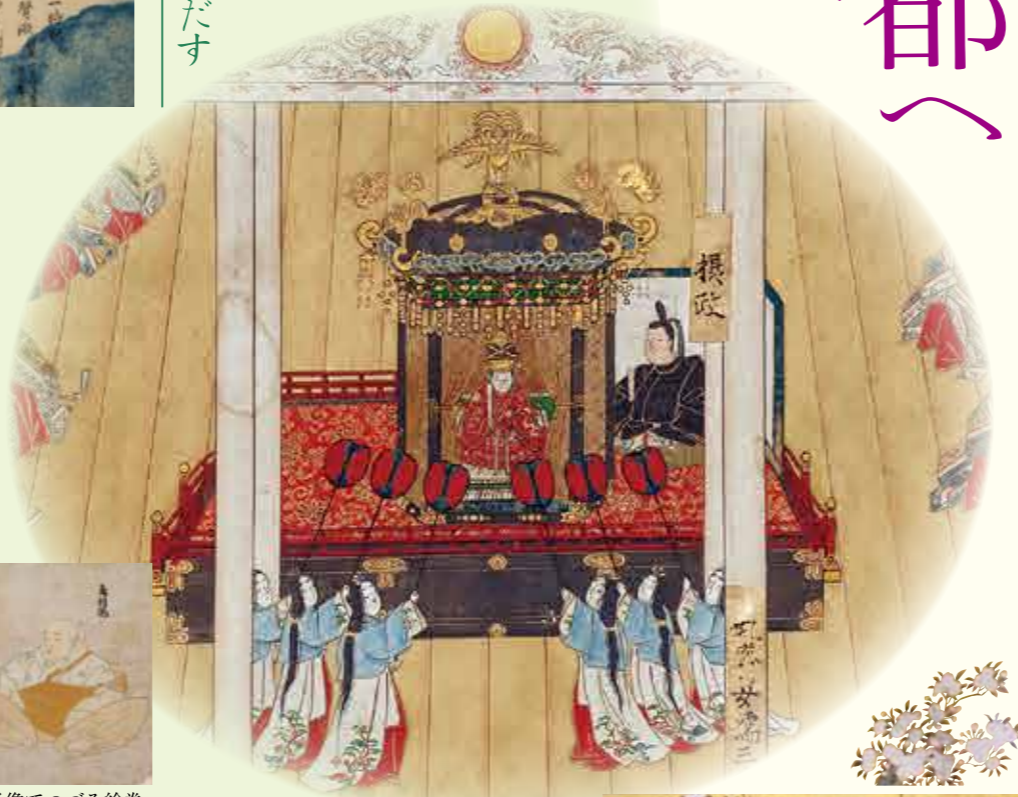
京都国立博物館 後期展示

漢に学び 和をうみだす



宮内庁三の丸尚蔵館 後期展示

漢詩と和歌を集めた平安時代のアンソロジー。藍色の雲形を漉き込んだ料紙に、力強さを秘めた美しい書が映える。



宮内庁三の丸尚蔵館 後期展示

元軍に立ち向かう御家人たちの雄姿など、元寇のありさまが描かれている。教科書でもおなじみ、歴史資料としても名高い絵巻。



宮内庁三の丸尚蔵館 後期展示

桂離宮を営んだことで知られる八条宮家に伝来した作品。かつては邸宅を飾る襖絵であった。

王朝物語の舞台



東京国立博物館 後期展示



宮内庁三の丸尚蔵館 後期展示

平安から鎌倉時代の天皇の系図を肖像でつづる絵巻。写実的な筆致で個性的な風貌がとらえられている。



宮内庁京都事務所 後期展示

御所をめぐる色とかたち

今では見ることもかなわない京都御所の儀式や日々の光景を、様々な作品を通してご紹介いたします。



天皇の姿と風雅

藤壺の別名で知られる飛香舎は、天皇の后妃のための殿舎のひとつ。京都御所の飛香舎を飾る襖絵とそこに配された調度。